

令和2年8月3日
西海みずき信用組合

地域振興室の設置について

西海みずき信用組合(本店:長崎県佐世保市/理事長:陣内純英)は、2020年8月3日付で新たに「地域振興室」を設置したことをお知らせいたします。

このたび設置した「地域振興室」では、新型コロナウイルスの蔓延で危機に直面した地元飲食業の支援策として打ち出した「さきめし」や、仕送りやアルバイト収入の減少により困窮に喘ぐ学生を支援する「佐世保まちの学食※」などを所管するほか、地場産業の活性化につながるプロジェクトのプロデュース・サポートや、地方創生に資する金融商品の検討・開発など、地域振興を目指した新たな仕組み、仕掛けづくりを展開してまいります。

地域金融機関は、地域経済の持続的な成長に向けて様々な形態で貢献することが期待されているところです。当組合におきましては、本施策を通じて多様なステークホルダーと主体的に関わり、地域経済のみならず地域社会そのものを支えてまいります。

なお、室長には、政府系金融機関、同研究所等にて全国各地の地域振興業務に従事し、今春より佐世保市へIターンした前田幸輔が就任します。

※「まちの学食」は、「させぼ新型コロナ対策支援協議会 / SCC / Sasebo Council on COVID-19」が運営しています。「SCC」は、「(株)FMさせぼ / はっぴい!FM」、「(株)広告のアクセス / まいぶれ佐世保」、「(株)SPARK JOY / させぼナビ」、「(株)FRIME / させぼ通信」、「西海みずき信用組合」の5法人で、2020年5月19日に設立した団体です。

記

●地域振興室の概要

部署名:地域振興室

室長:前田幸輔

人員:3名(1名兼務)

設置:2020年8月3日

●地域振興室の活動内容

- ・地場産業の振興に資するプロジェクトのプロデュースおよびサポート
- ・地域課題の解決に資するプロジェクトの企画、運営
- ・地域社会の持続的・自立的発展を目指すための研究および情報発信
- ・オープンイノベーションを通じた多様なステークホルダーとの共創

●室長略歴

- ・北海道函館市出身、國學院大学、弘前大学大学院地域社会研究科後期課程
- ・農村計画学会、地域デザイン学会所属

<職歴>

函館市役所、株式会社日本政策投資銀行、公立ほこだて未来大学出向、株式会社日本経済研究所等を経て2020年7月より西海みずき信用組合へ入組

<書籍、論文>

「実践！地域再生の経営戦略(改訂版)～全国36のケースに学ぶ“地域経営”」(共著)、
「地域創生のプレミアム(付加価値)戦略」(共著)、「地域マーケティングのコンテキスト転換」(共著)、「地方創生の地域経営」(共著)、「縮小社会に合致した農山村再生フレームワークの考え方」、「産業振興の観点から見た連携中枢都市圏への期待」、「農山村再生フレームワークの今日的課題」、「地域運営組織の持続可能性に向けた研究」ほか

<公職>

日本皮革産業連合会「キッズレザープログラム」総合プロデューサー、浦添商工会議所「うらそえ感動体験りっか！浦添」プロデューサー、一般社団法人させばラボ 理事、日本商工会議所「地域力活用新事業全国展開事業」専門家、青森県「農山漁村地域経営人財ネット」専門家、高知県産業振興アドバイザー、厚生労働省 児童館等における「遊びのプログラム」委員、全国商店街振興組合連合会「商店街の再生に関する検討委員会」委員など

<アドバイザー>

紋別商工会議所「観光閑散期の新コンテンツ開発事業」、青い森鉄道「沿線特産品開発事業」、むつ市担い手育成総合支援協議会「特産品開発事業」、大間町地域農業再生協議会「特産品開発事業」、岩谷堂箆笥協同組合「海外展開事業」、おぢや観光プロジェクト「千の谷の物語」、飯田市「飯田水引ブランド化事業」、新南陽商工会議所「発酵食品開発事業」、高松市「THE FIRST BONSAI EXPERIENCE」、土佐町「コミュニティホテル検討事業」、柳川商工会議所「歴史観光商品、特産品開発事業」、SASEBO まち元気協議会「中心市街地活性化事業」、佐世保市「多文化共生事業」、エミネントスラックス「新ブランド WESTORY 開発事業」、青島〇「高付加価値化商品開発事業」、平戸市物産協会「海外市場開拓事業」、人吉商工会議所「地域ブランド創出事業」、宮崎商工会議所「地域アイデンティティの創出事業」、奄美大島名瀬まち商店街「観光まちづくり事業」ほか多数

以上

本件のお問い合わせ先

西海みずき信用組合 地域振興室

前田 TEL 070-7664-7607

河口 TEL 070-7663-0789